

沢根スプリング ①

1個から生産

沢根スプリングが生産するバネは、医療研究で脳血管のクリップに使う超小型精密コイルバネから、自動車部品のバネ、防振用ダンパーバネまで幅広い。5000種類ものバネを1個から数万個まで生産する世界でも珍しい量産メーカー

だ。2013年12月期単体の

売上高見込みは約8億円。売上高こそ大きくないが、66年の創業以来、当期赤字は一度もない優良企業だ。08年秋のリーマン・ショック直後の09年12月期は売上高が前期比約20%減少したものの、10年12月期にはV字回復でピークを更新。取引先が特定の業種に偏っていないため、いち早く不況を乗り越えた。競争力の源泉である多様なバネを取り扱うきっかけとなったのは、87年に始め



多種多様、5000種対応

バネをカタログ通販



た日本初のバネのカタログ通信販売だ。当時は日系自動車メーカーが国内生産を増やしており、同社の主力

向上も追求できる。次の手を打つ

た現社長の沢根孝佳は「右肩上がりの成長はどんな事業でも永遠に続くわけではない。好調なうちに次の手を打つべきだ」と考えてい

いた。バネは機械要素部品として多種多様な製品に使われている。「部品交換などの需要は日本でも必ずあるはず」と沢根は予想した。しかし、日本のバネ業界では常識外の取り組みで「成功するわけがない」との声もあった。

国内製造業の空洞化が叫ばれるなか安定成長する同社だが、沢根が現状に満足する様子はまったくない。その目はすでに次なる目標を見定めている。

1万8000社
通販カタログ作成も前例がなかった。沢根は辛抱強くカタログ通販のビジネスモデルを語り、地道に普及活動に努めた。カタログは生産系の人だけでなく、バネの素人である事務系の人にも理解できる内容とし、簡単に発注できるようにした。

現在では全国1万8000社以上の取引先が同社の力